

REFRIGERATOR ENABLING USER TO WRITE MEMO ON

Patent Number: JP11304346

Publication date: 1999-11-05

Inventor(s): KUSAKABE KAZUICHI

Applicant(s): KUSAKABE KAZUICHI

Requested Patent: JP11304346

Application Number: JP19980164054 19980423

Priority Number(s):

IPC Classification: F25D23/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To surely write daily memos and a message by making a part of the front of the door of a refrigerator into a white board type.

SOLUTION: A part of the door 1 of a refrigerator is made into a white board type 3, and it is provided with a water-color pen stand 4 so that a person can write a memo thereon.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-304346

(43)公開日 平成11年(1999)11月5日

(51)Int.Cl.³
F 25 D 23/00

識別記号
301

F I
F 25 D 23/00

301S

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全2頁)

(21)出願番号 特願平10-164054

(22)出願日 平成10年(1998)4月23日

(71)出願人 597145296
日下部 和一
静岡県浜松市金折町779-4

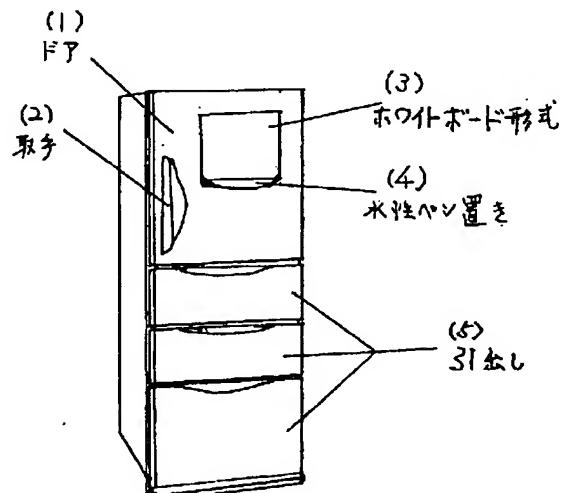
(72)発明者 日下部 和一
静岡県浜松市金折町779-4

(54)【発明の名称】 メモることのできる冷蔵庫

(57)【要約】

【目的】冷蔵庫のドア前面の一部を、ホワイトボード形式にすることにより、家庭での日常のメモ及び、人への伝言などを確実に伝えることができる。また場所も食堂にあるため、誰もが目にすることことができ、利用度も非常に高い。

【構成】冷蔵庫のドア(1)の一部をホワイトボード形式(3)にして、水性ペン置き(4)を設けて、メモができるようにした冷蔵庫。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 冷蔵庫のドア及び引出しの外部前面と側面の一部をホワイトボード形式にして、メモができるようにした冷蔵庫。

【発明の詳細な説明】

【0001】〔産業上の利用分野〕この発明は、冷蔵庫のドア又は、引出しの外部前面と側面の一部をホワイトボード形式にして、水性ペンにて直接メモができるようにした冷蔵庫に関するものである。

【0002】〔従来の技術〕従来は冷蔵庫に直接メモするようになっているものは、製品化されていない。

【0003】〔発明が解決しようとする課題〕

(イ)、メモ用紙やボールペンなどを探す手間をはぶく。

(ロ)、メモった紙や伝言などをマグネットにて落ちないように、しているため、マグネットやメモ用紙の廃止。

(ハ)、伝言や覚え書き等を、誰がみても、一目で、わかるようにする。

(ニ)、誰れでも、気軽にメモができるようにす

る。

【0004】〔課題を解決するための手段〕本発明は、冷蔵庫の外部前面のドア又は、引出しの一部を、ホワイトボード形式にして、直接メモができるようにした。

【0005】〔作用〕直接冷蔵庫にメモができる。

【0006】〔発明の効果〕したがって、〔0003〕に掲げた課題が、すべて解決される。冷蔵庫に直接メモができるため、落書きをしているような錯覚が味わえて、毎日の生活の中での、遊び心が出て、楽しさが増す。尚、字を書く面の色や形状は、何んでも良く、字を書く物は、消すことができるものなら何を使用してもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図である。

【符号の説明】

(1)はドア、(2)は取手、(3)はメモる面、(4)は水性ペン置き、(5)は引出し。

【図1】

